



松木島八幡社

せんぐう かせ
遷宮の風だより 第4報

発行元

松木島八幡社第19回式年遷宮委員会

令和5年3月1日

きやりうたほぞんかい 木遣り唄保存会入会者の募集中！

令和6年3月の式年遷宮まで1年となりました。松木島町内会皆様のご協力をお願いします。今回のたよりは、本殿屋根の工事状況、木遣り唄保存会の解説をしていきます。

ほんでんやねふきかえ 本殿屋根葺き替え工事の状況



昨年9月の工事着手前の状況

松木島八幡社は、皆さんがお参りをする「拝殿」とその奥に神様がお住まいになる「本殿」が連結した構造になっています。

今回の遷宮では、神様の「本殿」を風雨から守る銅板で葺かれた屋根を取り替えます。昨年10月から仮設屋根の設置工事に入り、銅板の撤去、下地大工工事、新設銅板工事など順調に進み、3月には光り輝く屋根に生まれ変わる予定です。



10月には、仮設の屋根で覆われました



11月 薄くなった銅板が取り払われました

保存会の紹介 その1 きやりうたほぞんかい 木遣り唄保存会



平成16年 式年遷宮の木遣り行列

松木島八幡社では、式年遷宮において木遣り行列が行われてきました。

木遣りとは、神社の造営の棟木を大勢で運ぶときに唄うおめでたい唄です。

現在では、保存会（会員19人）が松木島の伝統文化を受け継ぐため祭礼時に活動しています。

来るべく第19回式年遷宮を大勢の唄声で盛り上げていくために皆様のご協力をお願いします。

保存会では、入会者を募集しています。一緒に遷宮を盛り上げましょう。

今回の透かし

本殿に向かって右側の「^{こまいぬ}狛犬」です。狛犬は、左右一対で邪気を払うために置かれています。神社によって狛犬の表情が異なりますので、他の狛犬と比較するのも面白いでしょう！

